

日銀の視点

唐突に学校が休みとなり、部活も塾もピアノのレッスンも予定がなくなってしまう。息子たちに平日の様子を聞いてみた。新型コロナウイルスに感染しないように学校から指示された行動制約も多く、家で過ごす時間を持て余している様子だ。お父さんも大事な予定がキャンセルになったよ、と言ったら「飲み会？」と返された。

新型コロナウイルス感染症の広がりは本県経済にも影響

吉田 豊

日本銀行 水戸事務所 長

を及ぼしている。会合やイベントの中止で飲食店などのキャンセルが相次いでいるし、梅まつり開催期間とあって観光業は稼ぎ時であるのに客足は伸びない。地元の人も外出を控えているのか小売店の来

くなんと生産にも支障が出てくる、という声が聞かれる。やや旧聞に属するが、2月3日の節分では豆まきをしたご家庭も多かったと思う。節分の豆まきは昔々あるところの山に住んでいた鬼が人里に

はともかく、この話は盗賊や戦、疫病など外から降りかかってくるさまじまな災いに対して座して待つのではなく、皆が力を合わせて知恵を出し行動を起こせば困難も乗り越えられる、ということに

った。本欄も今回が最後の登板となる。長らくご愛読いただいた皆さまに心から感謝申し上げたい。茨城での生活は2年弱であったが、日々楽しく過ごさせていただいた。これからずっと茨城を応援していきたい。何度となく茨城に遊びに来た息子たちに印象に残ったことを聞くと、意外にも「千波湖で乗ったアヒルの足こぎボート、重心に帰って楽しかった」と。いやいや、あれはスワンボートといってアヒルではなくて白鳥だよ。白鳥は渡り鳥だから春になるといなくなるんだ。

「いざ」に備え冷静対処

感が募ったとしても、それぞれの立場で都合の悪い展開も想定してその備えや行動に思いを巡らし、いざというときには冷静に対処することを心掛けたい。

客は鈍く、個人消費は水を差されている。製造業でも組み立てに使う部品や商品を入れる容器などを中国製品に依存している先は、春節が明けても中国からの輸入が止まっています。そのため、手持ちの在庫がな

下りてきては悪さをするので困り果てた里の人々が団結して鬼に豆を投げ付けたところ、鬼の目に豆が当たって鬼が退散した、という昔話に由来するといふ。本当に鬼がい

筆者は東京への転勤を命じられ、茨城を離れることとな

(次回は4月11日掲載)